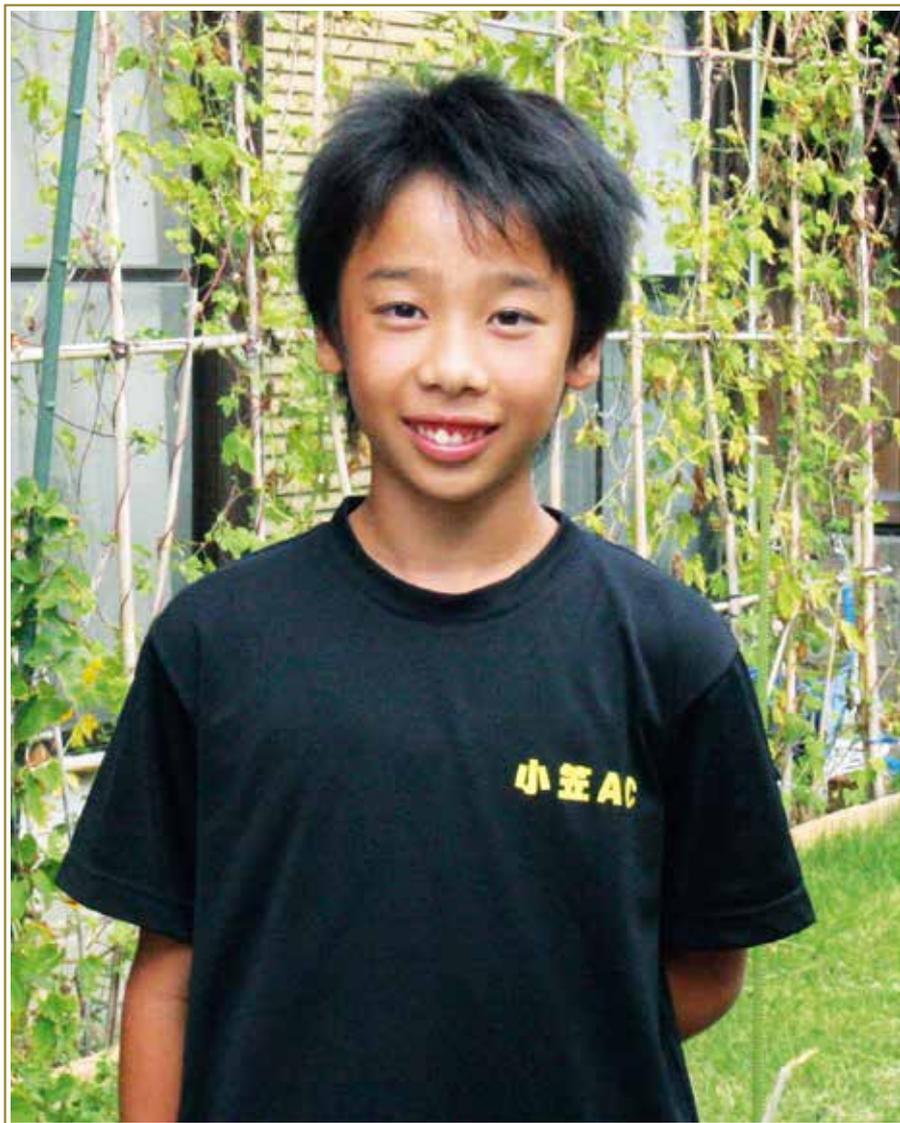




自己記録を跳び越えろ！

# ながた 永田 和輝 くん



**PROFILE** ながた・かずき (12・門屋) 第一小6年。体を動かすのが好きで学校ではソフトボールクラブに加入。小笠AC(アスリートクラブ)では夜遅くまで練習することもある。

気持ちよく跳べた全国大会

6月の「第29回全国小学生陸上競技交流大会 静岡県大会選考会」の「5・6年生男子走幅跳」で優勝を飾った和輝くんは、8月23、24日に神奈川県の日産スタジアムで行われた「第29回全国小学生陸上競技交流大会」に出場した。

大会では、全国から選考会を勝ち上がった選手が集まり、「少し緊張したが、気持ちよく跳べた」と振り返る。今回の大会では、4歳60センチと自己ベストの記録には届かなかったが、「全国の選手の競技や、事前のウォーミングアップの様子なども見ることができ、いろんなやり方が学べた。また全国大会に出場したい」と話してくれた。

バネを生かして走り幅跳びへ

陸上を始めたのは小学校3年生の時。小さい頃から足が速く、友達のお母さんから運動クラブに入るよう勧められたのがきっかけ。サッカー、野球、陸上と考えた中で、小笠ACに見学に行った。以来、小笠ACでずっと陸上を続けている。

当初は、足の速さを生かして短距離をやっていたが、5年生の時、体のバネがいいと監督やコーチから言われていたこともあり、走り幅跳びを始めた。

走り幅跳びの難しいところは「踏み切りで合わせるころ。タイミングや歩幅を合わせて上手に踏み切りができるように練習している」と言う。その練習の成果が出て、今回の全国大会出場となった。走り幅跳びが好き。練習と大会でいい結果が出るとうれし」と話してくれた。

中学では部活も陸上部へ

来年の春、中学生になる和輝くん。「中学校に行っても走り幅跳びを続けたい。中学校では陸上部にも入りたい」と来年も走り幅跳びに真剣に取り組むことを決めている。

小笠ACの練習は週に3回。主に浜岡総合運動場と浜岡砂丘で練習に励んでいる。練習には、中学生、高校生、大学生のOBと一緒に参加することもある。

さらなる上達を目指して、練習に取り組み和輝くんの今後の活躍に注目したい。